



下北教育事務所
QRコード

社会教育だより
「かけ橋」はバックナンバーも含めて下北教育事務所のホームページでご覧になれます。

令和5年度社会教育を核とする 地域ネットワーク活用促進事業

6月30日（金）大間町総合開発センター

〇趣旨

市町村の社会教育主事や社会教育関係職員の資質・能力の向上を図り、首長部局（まちづくり部局等）、企業、NPO団体、地域づくり団体、地域住民等が管内市町村における地域課題、地域素材等をもとに、地域の活性化を図る取組について話し合うことを通して、地域づくり人財のネットワークを形成し、地域課題解決に向けた連携を推進する。

本事業への取組に向けて、令和5年度「地域課題解決スタートアップ研修会」が、大間町で開催されました。

〇県生涯学習課から事業についての説明がありました。

本事業の趣旨、実施のための流れ、開催されることの意義や期待される効果などについて説明がありました。



〇県生涯学習課社会教育主事を講師に地域の活性化を図る取組について考えるワークショップを実施しました。

- ①めざす町の姿
- ②現状と課題
- ③具体的な活動内容
- ④実施する活動名

※働く場所の確保、人口減少などの問題点を考えることが、

①～④に結び付いていくことになります。



4人グループで熟議をしました。それぞれの意見や考えを否定せず、自由な発想で考えることで、「健康な町づくり」、「若者の定住策」、「教育環境づくり」など、参加者の町に対する思いが溢れた素晴らしい提案がたくさん出されていました。

地域学校協働活動研修

～7月5日（水）むつ来さいまい館～



〇講義・演習

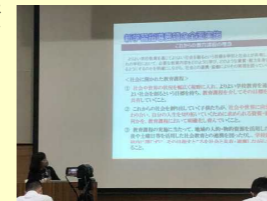
「地域とともにある学校づくり
～子どもたちの未来のために～」

講師：ゆめ☆まなびネット代表

CSマイスター 大谷 裕美子 氏

【講師から】

〇「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的推進に向けて
一体的推進を図るためには、コミュニティ・スクールの仕組みと、地域学校協働活動の様々な活動を連携させることが大切である。それぞれがもつ役割が十分に機能することで、相乗効果が発揮され、学校運営の改善と地域づくりに資する活動が一層進んでいくことになる。



〇「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向けて

- ・組織的・継続的な体制の構築 = 持続可能性
→教職員の異動があっても、学校運営協議会によって地域との組織的な連携・協働体制が継続できる。
- ・当事者意識・役割分担 = 社会総がかり
→学校経営の承認を通して、学校や地域、子供たちが抱える課題に対して関係者が当事者意識をもって取り組むことができる。
- ・目標・ビジョンを共有した「協働」活動
→子供たちの抱えている課題、地域で育てたい子供たちの姿何を実現するかを共有できる。

地域のたくさんの大人との出会いが心豊かな子供を育てる
きっかけに！

〇講義終了後、「子供たちに付けさせたい力は？」や「どんな学びをさせていくか？」等について模擬熟議を行いました。最後に、グループ毎に発表をして、考えを共有しました。



『小学生による縄文遺跡と地域文化財体験事業』

～ジュニアガイドツアー～

前号でも、活動の様子をお伝えした「大湊小学校ジュニアガイドツアー」の開催日時が決まりました。子供たちは、これまで学習してきた大湊水源池公園についてまとめたり、ガイドとしての気遣いや案内の仕方を練習したりして頑張っていました。また、むつ市教育委員会生涯学習学習課職員の方々などにアドバイスをいただきながら学習を進めています。当日は、その成果を分かりやすく堂々と発表します。



【昨年度の活動の様子】

日時 10月5日（木） 10：00～

※雨天の場合は、10月6日（金）に順延

場所 北の防人大湊 安渡館（9：45までに集合）

※一般参加者の申込みは、15名程度を予定しています。

詳細はむつ市教育委員会生涯学習課へ問合せください。

電話：0175-31-1188

※本活動は、体験活動を通じて縄文文化や地域文化財に関する理解を深めると共に郷土愛の醸成を図り、将来的に文化財の保存・活用に携わる人財の育成を図るために実施しています。

ユメココパネル展

7月5日（水）～6日（木）むつ来さいまい館

今年度も「ユメココパネル展」が開催されました。青森県教育支援プラットフォーム下北地区実行委員会（竹園正敏委員長）が、下北管内の小学生を対象に実施している「ユメココ教室（仕事体験出前授業）」を広く一般の地域住民にも紹介するため、パネル展を開きました。このパネル展には、地域の事業所、団体、NPO法人等が児童生徒のために日頃から実施している活動やイベントの様子をパネルにまとめて展示しました。7月5日（水）に行われた「地域学校協働活動研修」の講師である大谷裕美子氏も、児童生徒の活動の様子をご覧になり、感心していました。

